全体	№26
個別	006-01

平成２５年度［農　林　水　産　部］　組織目標

課　名	農　林　振　興　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	産業基盤の整備・充実
	項目	対馬しいたけ再生プラン総合対策支援事業	
	内容	『対馬しいたけやんこも再生プラン』の次年度に当たり、計画的にしいたけ振興策を図ります。 ≪主な内容≫ ●生産の効率化（簡易作業路の整備、原木供給システム構築、生産施設の整備、機械化(省力化)の推進） ●経営の合理化と分業化の推進（チップ業者と生産者との仲介、生産履歴台帳及び帳簿記入研修会の開催、対馬市ＣＡＴＶを活用した適時適作業の推進） ●担い手の確保と育成（新規参入者の確保、新規就業時の支援施策の充実、異業種参入の促進）等 ●対馬しいたけの需要拡大（しいたけフェア、物産展への出店、大手情報通信会社との提携） ●現しいたけ生産者の指導の下、しいたけ栽培の工程実体験をし、将来の対馬しいたけ生産の後継者また、担い手としての人材育成を図ります。	
	指標（数値目標）	【今年度】 しいたけ生産新規参入者：７名　しいたけ選別作業員：６名 しいたけ原木搬出路：２６ｋｍ（再生プランに基づき、長崎県が担う） しいたけ乾燥機リース：１３台 簡易散水施設：３０台 【達成年度】 しいたけ生産団地：２団地 しいたけ原木搬出路：５０ｋｍ しいたけ乾燥機リース：３０台 新規しいたけ後継者：３７名【Ｈ２３:２０名、Ｈ２４：１０名、Ｈ２５:７名】 新規しいたけ選別作業員：６名 生産量：１５０ｔ　　生産額：６７５百万円	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
しいたけ生産団地施設導入支援				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
しいたけ原木搬出路開設支援					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
しいたけ乾燥機リース支援				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬しいたけ需要拡大支援			●		●		●	●				
マイスター活動支援				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
担い手育成事業 上段：農協との委託期間 下段：雇用期間	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№27
個別	006-02

平成２５年度［　農　林　水　産　部　］　組織目標

課　名	農　林　振　興　課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施　　策	かけがえのない自然環境の保全 環境王国の樹立に向けた低炭素社会の構築
	項　　目	対馬市森林づくり基本計画、対馬市伐採ガイドラインの策定	
	内　　容	対馬市森林づくり基本計画を策定します。 対馬市伐採ガイドラインを策定します。 上記２つの計画、指針の進捗管理を対馬市森林づくり委員会にて行います。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・対馬市森林づくり基本計画の策定 ・対馬市伐採ガイドラインの策定 上記２つの計画、指針の進捗管理を対馬市森林づくり委員会にて行います。 ・森林づくり基本計画：平成２５年度上半期 ・対馬市伐採ガイドライン：平成２５年度上半期 ・林業事業者との意見交換会：１回 ・計画策定及び進捗管理のための委員会の開催：４回 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
委員会の開催（４回程度）		●		●	●						●	
パブリックコメント（計画）	⇔											
パブリックコメント（伐採ガイドライン）		⇔										

全体	№28
個別	006-03

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 振 興 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施策	環境王国の樹立に向けた低炭素型社会の構築
	項目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業	
	内容	本市は約９割を森林資源が占めているものの高齢化や後継者不足、輸送コスト等の問題により健全な森林資源の育成のために必要な間伐等森林整備が立ち遅れています。そこで、市が所有する市有林及び分収林の森林整備を推進し、豊富な森林資源の有効活用策のひとつとして世界的な取組みとして今後の新産業としての可能性を有する「間伐促進による二酸化炭素吸収量増加量」に係る排出権取り引き制度である”Ｊ－ＶＥＲ制度”への登録、申請により、これまで国・県等の補助制度等の活用による間伐事業を現状の森林状況に沿った計画的な間伐を進めます。 なお、Ｊ－ＶＥＲ制度については、平成２４年度までにクレジット発行まで出来たことからクレジットの売買を加速させます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 【市有林整備】 ①森林整備面積：18ha（利用間伐） ②路網整備：Ｌ＝4,000m 【Ｊ－ＶＥＲ制度関係】 ①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（３回） ②クレジット販売：１００ｔ-CO2（収入金：800千円） ③新規契約件数：３件 【達成年度】 ・同　　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
①森林整備（利用間伐及び路網整備）												
②企業訪問、マッチングイベントへの参加												

全体	№29
個別	006-04

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 振 興 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	対 象 外
	項目	農林産物の鳥獣被害防止及び居住区域内における生活安全対策確立	
	内容	本年度は「壱岐・対馬地域鳥獣被害防止計画に基づき、防護柵の導入を図ります。平成25年度は、防護柵の設置83,632ｍと既設防護柵の機能強化対策を予定しています。また、地域ぐるみでの鳥獣被害対策を推進するため、地域捕獲組織の構築を目指します。 新たに居住区域内における生活安全対策、家庭菜園等の防護対策に支援を実施します。 又、ツシマジカの食害による農林業被害、交通事故等の生活被害や環境被害を軽減するため、侵入防止柵や防鹿ネット等の設置による被害軽減と併せ、捕獲対策の実施により個体数の減少に努めます。（ツシマジカの被害額、面積については実数を把握できないため、指標(数値目標）は掲載していません。）	
	指標（数値目標）	【今年度】 ①農作物鳥獣被害面積の縮小(軽減率３０％) 平成25年度（目標） 鳥獣名／被害金額／被害面積 イノシシ／23,936千円／31.8ha 平成23年度（実績） 鳥獣名／被害金額／被害面積 イノシシ／31,978千円／76.5ha 平成24年度（実績） 鳥獣名／被害金額／被害面積 イノシシ／34,194千円／45.4ha ② 有害鳥獣対策重点項目 農地用防護柵の整備 既存農地用防護柵の機能強化 地域ぐるみでの捕獲組織構築 居住区域内における生活安全対策の確立 家庭菜園等の防護対策支援 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２６年 ３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
防護柵の設置				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
居住区域内の安全対策			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
既設防護柵の強化対策							↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№30
個別	006-05

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	農 林 振 興 課

№.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	学校給食地場農林水産物導入事業	
	内容	学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。	
	指標（数値目標）	【今年度】 農林水産物の需給システムを構築します。 【達成年度】 学校給食に地場産品を使用する割合 ミニトマト 80% アスパラガス 80% さつまいも 80% しいたけ 100% 米 50% その他（根野菜、きゅうり） 30%	
	達成時期	平成２７年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
需給システムの検討				↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	
給食への導入		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	

全体	№31
個別	006-06

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 振 興 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち
		施 策	かけがえのない自然環境の保全
	項 目	「海洋保護区の設定」	
	内 容	水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。その中で、区域の設定や区域内の資源管理計画を科学的な根拠に基づき行うために、科学委員会へ諮問します。 海洋保護区条例の制定、広報、利害関係者との交渉、認証制度の運用や流通体制、監視体制、管理体制等を構築するための戦略を練る機関として戦略会議を設置します。 推進協議会は、科学委員会の答申を受けて、対馬版海洋保護区設定案を作成し、戦略会議により国や県などに働きかけて、対馬らしい海洋保護区の設定を進めます。	
	指 標 (数値目標)	【今年度】 ○科学委員会は、チーム毎に検討課題を分担し、データや文献等の整理をします。各チームのまとめから報告書を作成します。 ○設定推進協議会は、報告書の確認と、答申を受けて今後の方針を整理します。 ○設定推進協議会1回、専門委員会3回、科学委員会3回、戦略会議1回開催予定 【達成年度】 ・「海洋保護区」の設定	
	達成時期	平成２７年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	設定推進協議会						○						○
	専門委員会		○				○						○
	科学委員会				○		○			○			
	戦略会議			○									

全体	№32
個別	006-07

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 振 興 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	「対馬食通祭の開催」	
	内容	島内では、対馬産の素晴らしさが島民に理解されておらず、島外においては、対馬産の露出が少ないため地名度も低い状況です。第一次産業の再興を図るためには、地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高める必要があり、そのため新鮮な魚や旬な農産物が本土より安く、豊富に食べることができる島の魅力を島内外に広めることが必要となってきます。その一環として、対馬市産物消費拡大推進事業を展開します。	
	指標（数値目標）	【今年度】 〇第一次産業と観光の融合を目指すため、今年度、対馬の農水産物の消費拡大と島のPRを行うため３ヶ月間イベントを実施します。期間中はオープニング、中間、エンディング、期間中のイベントと、４つのイベントを開催します。 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２６年 ３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
実行委員会												
食通祭オープニングイベント												
食通祭中間イベント												
食通祭エンディングイベント												
食通祭期間中イベント												

全体	№33
個別	006-8

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	水 産 振 興 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	「魚礁設置」	
	内容	対馬沿岸域における水産資源の低迷により、対馬市の漁業生産量は減少し続けていることから、その対策の一つとして魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。地先漁業権内に魚礁を整備することで近場の漁場が整備され、漁業者の高齢化にも配慮した環境が整えられます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ○魚礁13,500空㎥（上対馬2箇所・佐須奈2箇所：6,000空㎥ 琴・芦見・田ノ浜・小綱１・２：7,500空㎥） ※今後の計画 ○H26魚礁6,000空㎥（水崎1・2、阿連、高浜） ○H27魚礁6,000空㎥（瀬、安神、久和、豆酘） 【達成年度】 全体計画【H24～27年度】：魚礁1ヵ所1,500空㎥*17ヵ所=25,500空㎥	
	達成時期	平成２８年３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	上対馬1・2・佐須奈1・2(補正)								↔	↔	↔	↔	↔
	琴・芦見・田ノ浜・小綱1									↔	↔	↔	↔

全体	№34
個別	006-9

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

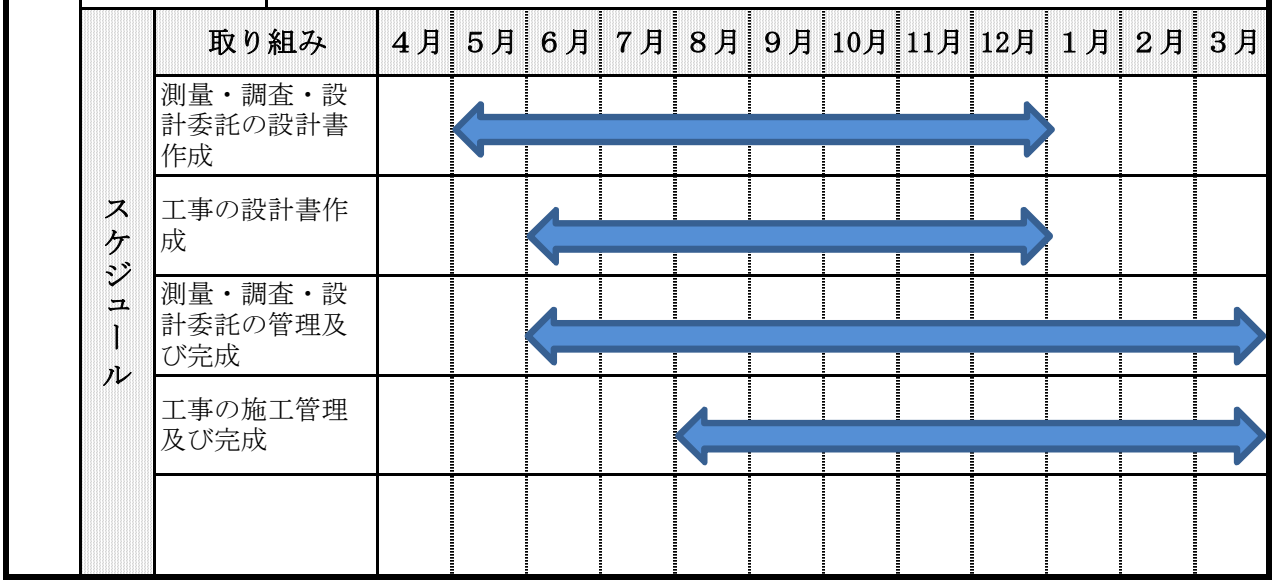
課 名	水 産 振 興 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	「水産物の輸送費補助」	
	内容	水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋げます。	
	指標（数値目標）	【今年度】 ○１４２万箱分に対しての支援を行います。 【24年度（5ヶ月間分）実績59万1千箱　1月あたり11万8千箱】 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２６年　３月	

スケジュール	取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
	補助対象期間	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	№35
個別	006-10

平成２５年度［ 農 林 水 産 部 ］ 組織目標

課 名	基 盤 整 備 課

No.	総合計画の区分	施策の大綱	創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち
		施策	地場産業の振興と観光との連携
	項目	基盤整備工事の早期発注、早期完成	
	内容	農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、市民生活の利便性の向上を目指すものであります。その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させ早期完成は、市民の生活基盤の底上げを図るものであり、本年度においても、大型補正分の早期発注及び通常事業分の早期着手を行い年内設計完了100％を目指します。	
	指標（数値目標）	【今年度】 平成25年度建設工事発注予定額（通常分） 1,302百万円 平成25年度建設工事発注予定件数（通常分） 委託 9件 工事 20件 平成25年度建設工事発注予定額（H24補正分） 452百万円 平成25年度建設工事発注予定件数（H24補正分） 委託 2件 工事 5件 平成25年度12月設計完了予定額 100％目標（1,752百万円） 平成25年度12月設計完了予定件数 委託 11件 工事 25件 【達成年度】 ・同 上	
	達成時期	平成２５年１２月